ゆざまち

議会だより

No.174
9月定例議会号
令和8年(2026年)
11月1日発行

遊佐町議会
ホームページ



玄米ツリーだ〜〜！

関連記事…「遊ねっとの稲刈り」P.20

9月定例会　会期9月8日〜18日

特集 遊佐町決算！

使われかたを徹底審査 …… P.2
議員が「今、聞きたいこと」 …… P.6
よりよい遊佐町のために …… P.12
委員会レポート …… P.14
追跡 提言はどう反映された？ …… P.17

＊単位未満は四捨五入により合計と一致しない場合があります。
数字の拾い方で広報と金額が違うところがあります。ご了承ください。

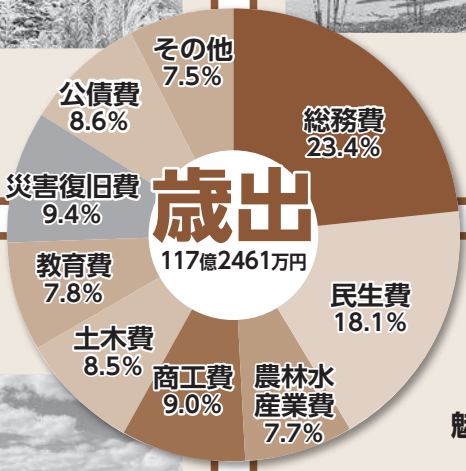
決算審査 注目事業!!

一般会計 歳出
117億2461万円
前年度比　10億496万円(9.4%)増

災害復旧費
11億375万円



8年度繰越額
4億4631万円



新・道の駅事業費
2億1784万円



建設工事	1億5061万円
業務委託料	6723万円

参考：行政報告書より

企業・事業者への支援



指定事業奨励金　7件	3億2261万円
技術者養成補助金　41件	108万円
整備投資支援補助金　3件	153万円

参考：行政報告書より

県立遊佐高校支援事業
魅力化事業 就学支援 **4938万円**

はばたき支援金
節目年齢の子供に支給 322人 **966万円**

小中学校給食費負担軽減
7年度は町単独事業
2869万円



7年度 町債の償還（借金の返済）
注目!!

元金	9億6662万円
利子	4065万円

特別会計歳出

遊佐町国民健康保険特別会計	14億9626万円
遊佐町介護健康保険特別会計	18億7408万円
遊佐町後期高齢者医療特別会計	2億4907万円

＊本文中の年号「令和」は省略しています。

町税増額 地方交付税は減少

事業の見直しと行財政改革の推進を

●新・道の駅造成開始 9年度完了へ

町債
8億6200万円



前年度比
＋3億2091万円

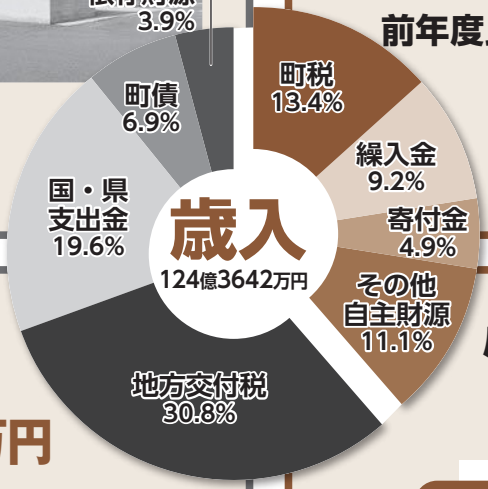
町税
16億6959万円

自主財源 38.7%



前年度比 **＋3億7842万円**

個人町民税	4億7203万円
法人町民税	6975万円
固定資産税	10億279万円



地方交付税
38億3149万円

前年度比
-2億2515万円

ふるさと納税寄付金
5億8732万円

参考
6年度 9億5565万円
5年度 13億2539万円



前年度比 **-3億6833万円**

国・県支出金
24億4086万円



前年度比
＋5億7319万円

依存財源 61.3%

町債の残高（借金）

7年度残高	84億8133万円
6年度残高	85億8337万円
前年度比	-1億204万円

基金の残高（積立金）

総額
29億682万円
前年度比 -3億8974万円

主な基金		
	財政調整基金	6億7604万円
	義務教育施設整備基金	2億7968万円
	パーキングエリアタウン整備基金	8億2488万円
	観光施設整備基金	1億2970万円
	その他基金	9億9652万円

決算審査

決算審査特別委員会

9月17日・18日

財政調整基金残は6億7604万円

ふるさと納税寄付金39.5%大幅減

【決算審査とは】予算執行が適切であるかをチェックするとともに次年度の予算編成に提案や改善を求めます。



詳しい内容は二次元コードから

9月17日　9月18日

委員長　渋谷 敏　　副委員長　遊佐 亮太

松くい虫対策

松くい虫対策の転換

問　年間1億円を超えた松くい虫対策をどう総括するのか。（遊佐 亮太）

答　全量伐倒は困難。西浜キャンプ場や遊ぽっと周辺を重点的に守り、道路・住宅周辺は二次被害防止を優先する。

医療・福祉

重層的支援体制整備事業の効果は

問　主要施策では、若者関連事業は多いが高齢者関連は少ないと評価するが。（菅原 和幸）

答　高齢者に限ったものでないが、重層的支援体制整備事業で、地域社会の繋がり、地域支援の活動などを行っている。



地域を支える仕組みを考える
地域支援研修会

医療施設物価高騰支援事業

問　医療施設に対する交付金制度のようだが、事業内容は。（本間 知広）

答　町内医療機関に対し経営の安定化を図るため、10の施設に合計317万円を補助し支援するもの。

地域・暮らし

公平な制度にするべきでは

問　持ち家住宅リフォーム補助金は同じ人が利用可能。毎年利用の確認は。（今野 博義）

答　制度上は同一世帯が毎年続けて利用することが可能。現在は繰り返し利用されているかの確認は行っていない。

空き家の家財道具処分

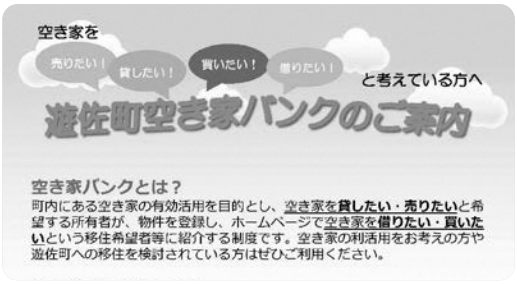
問　空き家のタンスや、戸棚など片付けに必要な補助金の申請条件は。（那須 正幸）

答　空き家バンクに登録が必要。家財道具の処分搬出や清掃に係る費用に対して経費の2分の1、上限20万円の補助。

集落公民館等整備事業補助金

問　新たな事業と認識。事業の内容は。（本間 知広）

答　地域交流の推進等のため、集落公民館の整備に要する経費に対するものとして新たに設置したもの。



空き家バンクへの登録を

企業誘致

事業奨励金の効果検証

問　約3億2261万円の指定事業奨励金の効果をどう検証するか。（遊佐 亮太）

答　7年度は7件の指定事業に奨励金を交付。地域経済への波及効果は、今後さらに分析する必要がある。

鳥海南工業団地企業誘致

問　工業団地への企業誘致は重要なテーマであり、誘致策はあるのか。（斎藤 弥志夫）

答　日本重化学工業㈱が今後操業を開始する予定である。引き続き山形県と連携して誘致に取り組んで行く。

3億円を超える事業奨励金

問　5年間企業へ支払われるもの。以前、見直しを提案したが検討状況は。（今野 博義）

答　企業に対する工業用水道料金支援補助金等は既に廃止済。事業奨励金のあり方も含め現在検討を進めている。



企業誘致は重要なテーマ

遊佐高支援

遊佐高校魅力化連携支援事業

問　地域おこし協力隊の他に会計年度任用職員は何名採用したのか。（駒井 江美子）

答　7年6月から事務担当で1名、8年1月から県外留学生の寮運営等の担当で2名、合計3名の採用。

地域みらい留学参画負担金

問　6年度より大幅な増額だが、この事業に参画しての評価はどうか。（伊原 ひとみ）

答　事業に参画したことで、全国に幅広く周知され応募に繋がった。

防災関連

防災行政無線維持管理費負担金

問　当初予算では1724万円と見込んでいたが、かなりの減額。理由は。（伊原 ひとみ）

答　7年度は調査と一部工事のみで、本体工事を8年度に繰越したため。今年度工事はすでに完了した。

集落自主防災組織の強化

問　自主防災会活動助成金が大幅に増えた要因は。（那須 正幸）

答　吹浦財産区が吹浦地区の自主防災組織に対して3分の1の補助を行うことによって利用が増えたため。

その他質疑

町勤労者生活安定資金貸付金

問　この貸付金の利用者は何人で金利はどれくらいか。（斎藤 弥志夫）

答　貸付金の利用者は6人。金利は用途別に6種類ある。7年度の金利は生活資金が年2・75％で他は年1・25％～1・65％である。

町のDX化推進事業

問　役場内で生成AIの導入状況は。（駒井 江美子）

答　7年度はしていないが、8年度8月から試験的に行政に特化した生成AIを導入した。10月から本格導入の予定。

地方消費税交付金は四半期ごと交付

問　地方消費税交付金は、6年度比2500万円増である。交付清算も4期ごとか。（菅原 和幸）

答　地方消費税交付金は、毎年度6月から3カ月ごとに4回に分け交付される。6月交付分は、2月から4月までの収入分を清算する。



デジタル技術を活用した遊佐町の未来を描く若手職員会議

町の事業と課題を問う

【一般質問とは】町の行政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行います。

一般質問

10議員登壇

9月8日・9日

＊各議員の一般質問録画映像は二次元コードからアクセスしてください。

一般質問の要旨（通告順）

◎…記事掲載あり　○…記事掲載なし

菅原 和幸 議員
◎遊佐元町で内水氾濫が高まるのでは

遊佐 亮太 議員
◎担い手不足を町全体で

本間 知広 議員
◎大雨災害から2年 現状と対策は

伊原 ひとみ 議員
◎道路・歩道の除草と安全管理は

斎藤 弥志夫 議員
◎カーボンリサイクルシステム
○デマンドタクシー
○介護の問題

渋谷 敏 議員
◎共同宣言における町の役割は

今野 博義 議員
◎振興計画で描く遊佐町とは

駒井 江美子 議員
◎洋上風力事業 町の責任は

那須 正幸 議員
◎災害時に対応できる自主防災組織
○河原宿避難小屋のトイレはなぜ、経費がかからないのか

佐藤 俊太郎 議員
◎「さすまた」を使用した防御訓練は



遊佐元町で内水氾濫が高まるのでは



菅原（すがわら） 和幸（かずゆき） 議員

問 県は、六日町の月光川左岸に「フラップゲート型排水樋門」を7年度に設置、今後町に移管になる。排水用車輌が進入可能な管理用道路整備を県に求めるべきと以前述べたが、その後は。

要望はしているが計画は未定

答 6年7月の大雨で被害を受けた六日町地内に、排水樋門設置工事を終えた。排水樋門の移管に併せ、管理用道路の整備は、県に要望しているが、今後の計画等は決まっていない。

質問者の動画



月光川の水位上昇で自動的に閉まる水門

担い手不足を町全体で



遊佐（ゆさ） 亮太（りょうた）
議員

質問者の動画

問 消防団・スポーツ・伝統芸能・自治会などの担い手不足を各課の個別課題ではなく、人口減少を背景とする町全体の構造的課題として捉え、横断的に検討すべきでは。

庁内横断で検討へ

答 定住促進施策庁内連絡会議で担い手確保戦略を検討していく。地域おこし協力隊や大学生、移住者、関係人口など、外部人材が担い手になりやすい仕組みも必要。



地域コミュニティ

大雨災害から2年 現状と対策は



本間（ほんま） 知広（ともひろ）
議員

質問者の動画

問 6年7月25日の大雨災害から2年が経過した。被災箇所の復旧も進んでいると認識しているが、現在の状況はどうなっているか。併せて災害対策としての取り組みは。

災害からの教訓を風化させない

答 町の災害復旧は7年度までにほぼ完了している状況。対策として排水樋門の整備やH鋼の角落しを設置、職員の避難所開設などの実践的な訓練を通して、教訓を風化させないよう取り組んでいく。



災害復旧はほぼ完了

道路・歩道の除草と安全管理は



伊原（いはら） ひとみ
議員

質問者の動画

問 国道・県道はそれぞれ国・県が管理者となっている。町は危険情報を各管理者に伝え、対策を働きかけることが役目と考える。歩道の伸びた雑草の除草と安全管理の対策は。

国や県と連携し、安全管理に努める

答 除草作業は年間計画で実施。町含め、各管理者も日々道路パトロールを実施し、安全管理に努めている。なお、電柱に支障がある際は東北電力に、農道や農地の適正管理は産業課に連絡を。



歩行者が見えないほどの草の高さは
かなり危険

若い世代の人たちの写真が表紙や紙面に載っていると、心に元気がもらえます。(遊佐Sさん)
Re:ありがとうございます。これからも、いい写真をたくさん載せていきたいと思います。

カーボンリサイクルシステム



斎藤（さいとう） 弥志夫（やしお） 議員

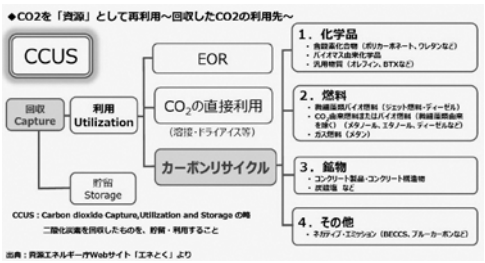
質問者の動画

問 CO_2の削減を目指すカーボンリサイクルは、※NEDOが推進しており、自治体と地元企業が合同で研究して社会実装ロードマップを策定する。遊佐町のカーボンリサイクルに対する基本的な考え方は。

カーボンリサイクルの普及を期待

答 CO_2を資源として捉え、素材や燃料に再利用することで化学品、コンクリート製品などに活用することである。カーボンリサイクル製品が普及するのは環境と産業界にとって有益で期待するものである。

※国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構



カーボンリサイクル概念図

共同宣言における町の役割は



渋谷（しぶや） 敏（さとし） 議員

質問者の動画

問 共同宣言は生活クラブ、JAと町が一主体となっている。雇用型就農、食育、環境保全の三プロジェクトをすすめる中でその具体性と、大規模災害協定の平時協力体制の構築が求められるが対策は。

三者が協調してすすめる

答 これまでの取り組みを次のステージに発展させていくにあたり、町は一層の役割を果たす所存である。それぞれが役割を果たし足並を揃え協調して実施していく。



共同宣言の具体化にむけ連携・協働を

振興計画で描く遊佐町とは



今野（こんの） 博義（ひろよし） 議員

質問者の動画

問 町が公開した第1期実施計画で示す遊佐町の3年間とは。財政状況を踏まえた事業の見直しは行ったか。指定管理料が増額される中、まちづくり協会事務局員報酬は据え置きと聞くが対応は。

チーム遊佐で幸せあふれる町に

答 厳しい財政を踏まえ必要性の高い施策に重点を置いて取り組む。計画策定は、廃止・縮小・継続等の内部評価による見直しを実施。まちづくり協会事務局員報酬は人件費高騰を踏まえ9年度改善予定。



今後の遊佐町はどうなるのか

＊各議員の一般質問録画映像は二次元コードからアクセスしてください。

洋上風力事業 町の責任は



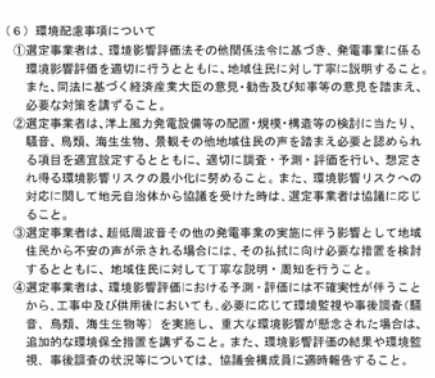
駒井 江美子（こまい えみこ）
議員

質問者の動画

問 町民の生活環境を守りながら、町が期待する地域振興や経済効果を確保するためにどのような役割と責任を果たしていくのか。

責任を持って関わる

答 町民が安心して暮らせることを第一に考えている。住民の不安や心配に対し、筆頭となり対応していく。調整役となりながら国や県、事業者と協力して事業が進むよう関わっていく。



（6）環境配慮事項について

①選定事業者は、環境影響評価法その他関係法令に基づき、発電事業に係る環境影響評価を適切に行うとともに、地域住民に対し丁寧に説明すること。また、同法に基づく経済産業大臣の意見・勧告及び知事等の意見を踏まえ、必要な対策を講ずること。

②選定事業者は、洋上風力発電設備等の配置・規模・構造等の検討に当たり、騒音、鳥類、海生生物、景観その他地域住民の声を踏まえ必要と認められる項目を適宜設定するとともに、適切に調査・予測・評価を行い、想定され得る環境影響リスクの最小化に努めること。また、環境影響リスクへの対応に関して地元自治体から協議を受けた時は、選定事業者は協議に応じること。

③選定事業者は、超低周波音その他の発電事業の実施に伴う影響として地域住民から不安の声が示される場合には、その払拭に向け必要な措置を検討するとともに、地域住民に対して丁寧な説明・周知を行うこと。

④選定事業者は、環境影響評価における予測・評価には不確実性が伴うことから、工事中及び供用後においても、必要に応じて環境監視や事後調査（騒音、鳥類、海生生物等）を実施し、重大な環境影響が懸念された場合は、追加的な環境保全措置を講ずること。また、環境影響評価の結果や環境監視、事後調査の状況等については、協議会構成員に適時報告すること。

山形県遊佐町沖における
協議会意見とりまとめ 抜粋

災害時に対応できる自主防災組織



那須 正幸（なす まさゆき）
議員

質問者の動画

問 集落の自主防災組織は「共助」の要である。集落内での避難の仕方や1次避難場所での対応、地区での避難所開設までの流れは、町のサポート体制が必要である。訓練を含めた取り組みは。

地域の実情に合わせて支援を継続

答 防災資材の購入や研修会への助成、危機管理アドバイザーによる出前講座、訓練への助言、支援などを実施している。自主防災組織が過度な負担を抱えることなく持続可能な活動ができるよう引き続き支援していく。



避難所開設訓練の様子

「さすまた」を使用した防御訓練は



佐藤 俊太郎（さとう しゅんたろう）
議員

質問者の動画

問 児童生徒等の安全を確保するためには、備え付けの「さすまた」を使用した防御訓練が必要と考える。実施頻度は。

実践的な訓練や研修を今後検討

答 不審者への対策として、有効な用具だと認識する。しかし「さすまた」を使用しての訓練は、近年実施していない。「さすまた」あるいは机椅子等による侵入防止など、より実践的な訓練等を検討する。



遊佐小学校設置の「さすまた」

クイズ挑戦のために、4回紙面を熟読。くり返し、もどり進みしながら楽しく読んでいます。（遊佐Mさん）
Re:クイズ冥利に尽きるコメントですね。ありがとうございます。

ふるさと納税返礼経費7000万円
6億3200万円の補正予算が可決

その他の補正予算

除雪経費	6350万円
除雪機械購入費	6000万円
町道杉沢本線舗装工事費増額	3000万円
財政調整基金積立金	2億3948万円

補正予算
補正予算審査特別委員会
9月11日



委員長　伊原 ひとみ
副委員長　駒井 江美子

詳しい内容は二次元コードから

【補正予算とは】
当初予算だけでは足りなくなったときに年度途中で組み直す追加の予算。当初予算内容を減額や変更する場合もあります。

地域おこし

地域おこし協力隊推進事業

問 9月採用予定の隊員分等のための増額だが、内容は。（駒井 江美子）

答 DX推進・水循環・教育コーディネーターの3つの分野で募集したが、応募なし、または採用に至らなかった。

農業振興

土づくり支援事業の助成は

問 7年度と同様にケイ酸肥料への助成だが、町の土づくり支援の詳細は。（渋谷 敏）

答 良質米の生産に欠かせないケイ酸入り肥料に対して助成するものである。酒田市も同様の補助を行っている。

地域農業構造転換支援事業費補助金

問 補助金400万円を農業の構造転換に使用するということだが、その内容は。（斎藤 弥志夫）

答 農業者の経営改善に必要な農業機械や施設の導入を支援する国庫補助金である。

ふるさと納税

ふるさと納税の返礼経費

問 当初予算で計上不足の返礼経費。7000万円計上だが今後の不足額は。（今野 博義）

答 現時点で寄附額は6億円を見込んでいる。今後、返礼品で約3000万円、通信運搬費で約900万円不足。

ふるさと支援事業は

問 返礼品の多くを占める米の市況を町はどうみているのか。（渋谷 敏）

答 8月末の寄附金の実績は好調で、予算は消費動向を考慮して計画し今後の伸長を期待する。

遺跡・文化財

小山崎遺跡の整備見直し

問 入札不調で工事から委託へ変更する。詳細は。（遊佐 亮太）

答 入札不調を受け整備内容を見直し、工事費1860万円を減額し同額を委託料へ振り替える。

史跡小山崎遺跡の樹木伐採

問 1860万円で伐採して掘り起こし、昔の住居を復元させる予定はあるのか。（斎藤 弥志夫）

答 斜面居住地エリアの整備であって、住居の復元をしない。居住地エリアの通路と建物跡を整備するものである。



整備が始まる小山崎遺跡

指定文化財購入費用計上とは

問 補正予算計上の経緯は。他の町指定文化財の所在確認が必要では。（今野 博義）

答 所有者が誤って売却し買戻しが叶わなかった。やむを得ず町が購入するため計上。今後、適切に確認を進める。

地域・暮らし

除雪予算の使い方は

問　除雪委託料を近年の実績に即し補正。詳細は。（遊佐 亮太）

答　除雪委託料は実績見込みにより5000万円を増額し、計7000万円に。除雪機械3台も更新する。

除雪機械の運行

問　従事者不足対応で、一人乗車運行導入の市がある。検討の考えは。（佐藤 俊太郎）

答　検討するが、作業上の安全面で解決すべき点があると考える。現行は二人乗車運行で実施している。

空き家バンク物件の成約増

問　空き家利活用促進事業補助金が40万円の増額補正。詳細は。（本間 知広）

答　空き家バンク物件成約によるもの。1件あたり20万円の補助で、2件の利用増で40万円の増額。

コミュニティ助成事業 不採択

問　不採択となった集落数と申請内容、再度申請は可能なのか。（那須 正幸）

答　3集落すべてが不採択となった。内容は中型除雪機や公園遊具、プレハブなどを申請した。1集落は再度申請予定。

観光施設

あぽん西浜 新規水源掘削工事

問　工事の内容と、財源として観光施設整備基金からの支出はあるのか。（那須 正幸）

答　洗い場のシャワーとサウナの水風呂などに砂が混じるため工事を行う。財源として観光施設整備基金を繰り入れる。

修繕計画は定まっていない

問　観光費の大平山荘に関する補正は、休館中の施設修繕に関するものか。（菅原 和幸）

答　ブルーライン閉鎖時の資材をピロティに保管しているが、現状では支障があることから、敷砂利をするものである。



老朽化が進むあぽん西浜

福祉の充実

放課後児童クラブ事業

問　放課後児童クラブ設置促進事業補助金増額の内容は。（駒井 江美子）

答　9年4月から開設予定の「すぎのこ学童クラブ」に対し、準備のためのトイレ改修やパソコンなど備品購入のための補助。

支援事業の内容は

問　保育施設物価高騰対策支援給付金が増額補正。支援事業の内容は。（本間 知広）

答　町内私立保育施設に対し、園児1人あたり月700円を補助する支援を行い、経営の安定化を図るもの。

その他質疑

パノラマパーク 支障木伐採

問　伐採するに至った理由と、伐採木の有効活用は。（佐藤 俊太郎）

答　タブの木の幹に空洞ができ、倒れる危険が発生。伐採後は、廃棄物として処理する予定。

森林環境譲与税を新事業の財源に

問　藤崎保育園の机と椅子が森林環境譲与税で購入できるのはなぜか。（菅原 和幸）

答　7年12月に、林野庁と総務省から出された取り組み事例を参考に、この譲与税を活用することになった。

よりよい遊佐町に願いを込めて

8年度 政策提言



遊佐町議会では町の重要課題に関して政策提言を行っています。町民の皆さまの思いをくみ取り、町政に反映させるよう求めてまいります。

詳しい内容は二次元コードから

提言1 地域コミュニティと見守り活動の強化



現状と課題

人口減少・高齢化により地域の活動団体の縮小や解散が進行、役員のなり手不足も課題。「百歳体操」などの地域住民の交流は見守りの効果が大きい。

提言

①地域活動団体の活動継続に関する意向を調査し、団体ごとの実態と課題を把握。
②結果を踏まえ、運営面の支援・担い手確保や育成などを支援。
③持続可能な地域コミュニティの形成に向け、多世代が地域活動に関わる機会をつくる。

提言2 避難体制と自主防災組織活動の強化



現状と課題

大雨災害によって、避難所整備・防災備品整備の不足が明らかに。
自主防災組織の形骸化など地域防災力の強化が喫緊の課題。

提言

①町内自主防災組織の訓練の実施状況、連絡体制などを調査。災害時に必要な活動ができるか把握する。
②実践的な避難訓練の実施や連絡体制の確認。運営体制作りに必要な支援を。
③指定避難所等に必要な整備の補充を計画的に行う。

提言3 町内移動の利便性の確保



現状と課題

町は地域公共交通の見直し方針検討業務報告書を作成したが具体的な方向性・実施時期が明確でない。将来の人口や財政状況を踏まえ、持続可能な取り組みを検討すること。

提言

①町内全地域の地域公共交通に関する住民調査を行ない、ニーズを集約し課題を抽出、分析をする。
②町民の利便性のため、所管の連携が実効的に機能する「地域公共交通会議」を目指す。
③制度周知のための説明会の開催、利用体験の取組みを実施。

9月定例会の議案内容と賛否が分かれた議案

議案内容採決

9月定例会の議案内容（補正予算他、18件）

議案番号	議案名	内　容
議53号	令和8年度遊佐町一般会計補正予算（第3号）	歳入歳出それぞれ6億3200万円を追加し 歳入歳出それぞれ127億800万円とする
議54号	令和8年度遊佐町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ80万9千円を追加し 歳入歳出それぞれ15億8780万9千円とする
議55号	令和8年度遊佐町介護保険特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出それぞれ4780万円を追加し 歳入歳出それぞれ19億7100万円とする
議56号	令和8年度遊佐町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ4万円を追加し 歳入歳出それぞれ2億8004万円とする
議57号	令和7年度遊佐町各会計歳入歳出決算の認定について	審議内容をP2～P5に記載
議58号	遊佐町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の設定について	子ども・子育て支援法の改正に伴い遊佐町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例を整備するもの
議59号	遊佐町議会議員及び遊佐町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	遊佐町議会議員及び遊佐町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正するもの
議60号	遊佐町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院規則の一部改正に伴い、年次休暇により対応していたものを官公署出頭休暇の対象とする改正
議61号	遊佐町財産区議会条例の一部を改正する条例の制定について	地方自治法の改正に伴い関係する条項を整備するもの
議62号	令和7年度遊佐町水道事業会計剰余金の処分について	7年度遊佐町水道事業会計剰余金の処分について、地方公営企業法第32条第2項及び第3項の規定によるもの
議63号	令和7年度遊佐町下水道事業会計剰余金の処分について	7年度遊佐町下水道事業会計剰余金の処分について、地方公営企業法第32条第2項及び第3項の規定によるもの
議64号	遊佐町教育委員会教育長の任命について	土門敦氏が10月31日に任期満了となることから、再び同人を任命することに同意
議65号	人権擁護委員候補者の推せんについて	石垣裕一氏が12月31日に任期満了となることから、新たに佐藤隆紀氏を候補者として推せんすることに同意
議66号	人権擁護委員候補者の推せんについて	伊藤厚志氏が12月31日に任期満了となることから、再び同人を候補者として推せんすることに同意
議67号	遊佐パーキングエリアタウン事業 新道の駅鳥海 什器・備品（産直物販什器・備品）の取得について	6444万9千円で取得するもの
議68号	遊佐パーキングエリアタウン事業 新道の駅鳥海 什器・備品（椅子・テーブル）の取得について	2739万円で取得するもの
議69号	遊佐パーキングエリアタウン事業 新道の駅鳥海 什器・備品（POSレジ）の取得について	2849万円で取得するもの
議70号	スクールバス（中型）の取得について	2430万550円で取得するもの
発議7号	まちづくり政策提言の提出について	遊佐町議会会議規則第14条の規定により提出するもの

〈傍聴者　のべ7人〉

賛否が分かれた議案 9月定例会

議長(髙橋冠治）は採決に加わらない

上程議案		投票者	議決結果（賛成：反対）
議64号	遊佐町教育委員会教育長の任命について	無記名投票	可決（9：2）

先行地域に学び未来へのヒントを学ぶ

文教産建常任委員会

実施日：6月23日～25日

委員会活動レポート

管外視察

協和木材株式会社 新庄工場

森林資源を存分に活用

2016年に新庄工場で操業を開始。市場でニーズのある集成材を専用に製造している。

2mの原木から、3mの集成材を製造している。製造工程は効率化を徹底していた。

原木は、最上地域だけでなく、庄内地域や県外からも購入している。



集成材のサンプル

「遊佐産材」も使用していた。CO_2の吸収を高めるために、昭和の拡大造林政策での原木の利用を高めるべきである。 **菅原 和幸**

山形県大蔵村

集落維持のため住民が自ら動く

滝の沢集落を視察。集落維持のため、自分たちでできること、行政に頼ることを区別して検討して動いている。

国制度の中山間地直接支払を活用して水田維持に努めている。



四ヶ村の棚田の前で

議長そして地区長でもある佐藤氏の、どちらの現状も理解できるからこその本音でのお話は大変貴重なものだった。 **伊原 ひとみ**

「中山間地直接支払」を最大限生かした活動が、集落の団結力を強くしているのだと感じた。 **本間 知広**

岩手県雫石町

住民の声を聞き、地域の足を整備

町内の路線バス廃止により、デマンドバス事業を開始。

事業の開始後も、利用者の声を聞き、路線や、予約方法の見直しなどを随時行っている。また、利用者を増やすため無料券配布などの工夫もしている。



説明を受ける様子

「つくる」「つなぐ」「いかす」を核に事業を進め、ニーズ把握で運行ダイヤの見直しを徹底していることに感銘を受けた。 **那須 正幸**

住民の声に耳を傾けて課題を見つけ、改善するために動くという担当者の姿勢が印象的だった。 **駒井 江美子**

秋田県大潟村

もみ殻を活用し脱炭素を目指す

年間、1万2千トンも出るもみ殻を活用しようと脱炭素先行事業に応募、選定された。

計画通りもみ殻ボイラーを使って、村の施設に温水供給をしている。



もみ殻ボイラーの説明を受ける

もみ殻処理に苦慮していた。もみ殻ボイラー設置による熱供給は理にかなったものだが、配管工事、もみ殻燻炭の販売先など課題も多い。 **髙橋　冠治**

地域を知り課題を探る

委員会活動レポート

管内視察

文教産建常任委員会

実施日：7月28日

遊佐浄化センター

施設の老朽化、住民ができることを確認

平成7年から稼働して30年ほど経過。建物や設備の老朽化を確認。町は計画に基づき整備を進めていく予定。

設備を少しでも長く使うために住民の協力が不可欠。



浄化センター

施設の老朽化が進んでいる状況。浄化センター以外も含めて、どのように修繕を図っていくかが課題。　本間 知広

Umios（ウミオス）株式会社

地域とつながりを作りながら事業を展開

限られたスペースで、徹底した管理のもと３種の魚の養殖試験を行っている。

養殖の過程で出る間引いた魚を小中学校給食へ提供したり、地域活動へ参加など地域活動にも力を入れている。



実験棟の様子

通年供給を目標に完全養殖と育種技術でサクラマスの生長期間通常3～4年を1年半まで短縮することに成功している。　那須 正幸

デマンドタクシー

利用者 運営の現状確認

事業委託先の商工会から、利用者に寄り添いながら対応していること、利用者が減少しているが、経費は増えていることなどの説明を受けた。利用者の多くは、福祉タクシー券を利用しているとのこと。



デマンドタクシーと発着場所

委託事業者と利用者の声が聞けたことでまた課題が見えた。デマンドと福祉タクシーのわかりづらさを改善すべきと実感した。伊原 ひとみ

地域活性化起業人

湧水を核に町の魅力を町外にアピール

「ウィスキーの町宣言」を仕掛け、メディア対象のツアーを行った。JRのキャンペーンなども活用し、遊佐発着プラン企画などをしている。町内の事業者と協働する仕組みづくりを今後進める予定。



地域活性化拠点施設にて

外部から見た「遊佐の価値観」を自身の経験を最大限活かし、水資源のブランド商品を磨き上げ、高めている。　髙橋　冠治

埋蔵文化材調査室

小山崎遺跡整備の計画は

小山崎遺跡の整備計画は、水辺などエリアごと、短期と長期に分け実施していく。

埋蔵文化財調査室は老朽化のため、今後整備予定の旧吹浦小「小山崎遺跡ガイダンス施設」に移転予定。

計画では、園路を計画し、史跡内を周遊できるが、史跡外からは丸池様を通る動線のみである。牛渡川に、仮設の人道橋も検討すべきでは。　菅原 和幸



調査室の一室で説明を受ける

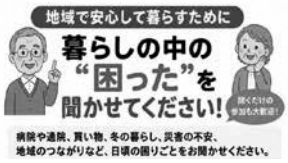
対話から見つける地域の課題と可能性

総務厚生常任委員会
実施日：7月3日

委員会活動レポート

町民懇談会

「地域で安心して暮らすために」をテーマに町民懇談会を開催した。15名の参加をいただいた。意見交換をするにあたり2班に分かれて、医療・介護・福祉、地域コミュニティ、防災・安全対策、冬の暮らしや公共施設などの懇談を行った。



医療・介護・福祉と移動手段

町内で受診できる診療科や開業医が少ないこと、リハビリを受けられる場所が限られていることなど、身近な医療体制の充実を求める声があった。特に多く出されたのが高齢者の移動手段である。運転免許を返納した後の通院や買い物への不安、福祉タクシー券の使い勝手、酒田市内の医療機関への交通手段などが課題として挙げられた。

以上のように、運転できなくなった後も地域に住み続けられるのか不安があることから、高齢者の「足」を行政として考えてほしい。

地域コミュニティと見守り

婦人会や老人クラブなどの解散・縮小、役員や担い手不足、一人暮らし高齢者の増加などにより、地域のつながりが弱くなっているとの声が寄せられた。一方、まちセンカフェや100歳体操など、無理なく参加できる小さな活動が交流や見守りにつながっている事例も紹介された。ただ現状、会長や世話役を引き受ける人がいない。「案内だけでなく、一人ひとりへの声かけが参加につながる。」との意見もあった。

防災・安全対策

防災訓練や自主防災組織が、実際の災害時に機能する仕組みになっているかを検証すべきとの意見があった。6年7月の大雨災害を受けて、若い世代が町外勤務で地域に不在となる時間帯への対応や、避難所備品を十分に使えなかったことなどが課題として挙げられた。また、防災行政無線が聞き取りにくい地域への対応、身近な施設への一時避難、停電時にも使える熱源の確保、防災倉庫や災害対応拠点の点検など、平時から具体的に備える必要性が確認された。

冬の暮らし・公共施設・町の将来

「除雪には、地域による状態のばらつきがある」との意見があった。他に、自主除雪の担い手不足、高齢者・障がい者宅で介護車両が入れるところまで除雪できる仕組みを求める声があった。道路沿いの危険な空き家や鳥獣被害、集落公民館の維持管理も課題として挙げられた。また、学校統廃合後の空き校舎利活用の方向性を早期に示してほしいとの意見や、人口減少と税収減を見据え、限られた予算でライフラインを維持していく必要があるとの意見もあった。

懇談会を終えて

今回の町民懇談会では、日々の暮らしの中で感じている具体的な困りごとや、地域で続けられている工夫を直接うかがうことができた。いただいた意見を委員会で共有し、今後の調査や政策提言、議会活動につなげていきたい。ご参加いただいた皆様に心から御礼申し上げます。

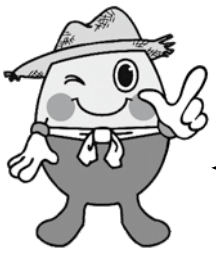
総務厚生常任委員会 委員長　渋谷 敏



追跡 どう反映された!? 町の回答は

提言のゆくえ

7年度 政策提言に対して



提言は町政に反映されたのか？町からの回答を基に紹介します



提言1 子育て・学びの環境充実

回答

○放課後児童クラブの定員は今後ホームページ等で公開予定。充足率は運営団体と協議のうえ検討。
○これまでの県立遊佐高校への支援に加え、町内在住節目年齢の子供の保護者に1人、3万円を支援。「はばたき支援給付金」を創設。
○空き家をリフォームし、若者世帯を対象に10年間賃貸する「空き家利活用住宅」を計画。



提言2 実効性ある防災拠点整備と共助体制の構築

回答

○自主防災組織に対し、防災資器材の整備支援、職員・防災士派遣による技術的支援を行う。
○想定する最大の避難者数を賄うため、計画的に備蓄の確保、物品管理の効率化を図る。
○これまで締結した災害協定は、発災時の連絡先や要請手順の確認を行い実効性の確保に努める。



提言3 農業担い手育成と産業活性化

回答

○就農研修生生活支援金の支給額を5万円に引き上げ。親元での就農研修も可能とした。
○新規就農と有害鳥獣対応に取り組む地域おこし協力隊2名を採用。初めての取組みのため研修受入先と連携しサポート。



提言4 関係人口を拡げる学習交流プログラム

回答

○保育園留学の検討。事業には相応の予算とマンパワーを要するため持続性も視野に関係機関と検討。
○小学校3年生から中学校3年生までの系統的な学習と運営をサポート。地域・企業・学校をつなぎ特色を生かした探求学習の充実に努める。

遊佐町議会は「よりよい遊佐町」になるようこれからも提言と検証を進めてまいります

町民と議会の懇談会

～車座で話そう遊佐町のこれから～

懇談会のお知らせ

11月17日㈫ 開催

18:00～19:30
入退場自由

会場：生涯学習センター２階
大会議室・研修室



７年度の様子

8年度政策提言の3つの柱を中心に話し合います

【懇談テーマ】
❶地域コミュニティと見守り活動の強化
❷災害時の避難体制と自主防災組織活動の強化
❸地域公共交通の維持・改善による町内移動の利便性の確保
❹その他

お問い合わせ
遊佐町議会 議会事務局 ☎72-5889（直通）

事前質問フォーム
締め切り
11月16日㈪ 18:00



町民皆さまのご来場を、心よりお待ち申し上げます。

秋以降エサとなるものを残さないで

イノシシ対策勉強会

管理編

8月4日に3回目となるイノシシ対策勉強会を開催。専門業者と小野曽地区の電気柵を設置した畑を確認し、下記のことを学んだ。



①電気柵に適切な電圧があるか → 弱いと効かず、強いと柵線が焦げる。
②柵周りの草の管理 → たくさんの草が柵線に触れていると柵の効果が減る。
③柵は張り続けておく → 侵入防止のため、作物がある限りは張り続けておくほうが良い。
④畑に作物を残さない → 食べ物があると越冬できてしまう。畑にエサとなるものを残さないようにする。

イノシシや他の動物にとって魅力のない環境にすることが大事
その上での侵入防止策が効果的

シリーズ
遊佐人 27
Yuzajin

地域でスポーツを楽しもう
一般社団法人 遊佐町総合型クラブ ゆず

子どもたちは遊佐の宝。子どもたちを育み、居場所となっている施設や団体をたずねます。今回は、地域でスポーツに親しめる仕組みづくりを行っている一般社団法人遊佐町総合型クラブゆず。常務理事兼クラブマネジャーの佐々木 康幸さんにお話を伺いました。

ホームページはこちら

発足の経緯

国の制度に合わせて、平成25年に遊佐町でも総合型地域スポーツクラブを設立するという動きが始まりです。総合型地域スポーツクラブは、地域で子どもから高齢者まで参加者のレベルに合わせて、さまざまなスポーツを楽しめるというものです。そして、地域住民が主体となって運営する仕組みとなっています。町や設立準備委員会のメンバーのたくさんの協力を得て、翌年平成26年に遊佐町総合型スポーツ文化クラブ「遊（ゆ）'s（ず）」を設立することができました。

現在は、法人化して一般社団法人「遊佐町総合型クラブゆず」となり、遊佐町民体育館、サン・スポーツランド遊佐、遊佐町民スポーツ広場の指定管理者としての業務も行っています。



スラックライン体験会


研修会「ストレスとの付き合い方」

試行錯誤しながらの仕組みづくり

総合型地域スポーツクラブの考え方に共感し、設立までこぎつけたものの、全てが手探りの状態でした。日々、必死に仕組みづくりを周りの人たちに助けてもらいながら行っていました。当時は、スポーツ少年団の事務局は町、スポーツ協会の事務局はスポーツ協会、そして総合型地域スポーツクラブの事務局があるという状況でした。設立当初からその窓口を一つにしたいと思いながら活動していました。そのような事務的部分と、ランニング教室や健康体操教室などの定期的な運動教室やイベント開催を行っていました。

積み重ねていく日々

仕組みづくりに必死な日々でしたが、運動教室に出向いて講師や参加者と顔を合わせて、話をすることが楽しみでした。だんだんと顔を覚えてもらって「ゆずの人」と認識してもらえるようになったことは嬉しかったです。

現在のクラブの様子

子どもから大人向けまでの複数の運動教室やサークルを実施しています。ランニングアカデミーは参加者が多く、150人を超える人気の教室になっています。昨年から実施しているモルックサークルも、子どもから大人まで楽しめるので人気です。

部活動の地域展開の受け皿にもなり、スポーツ活動の他、文化活動の「アストラ吹奏楽アカデミー」もクラブに加わりました。

町、議会へ望むこと

町と協力してこの総合型地域スポーツクラブを立ち上げた経緯があります。「ワンチーム」として、今後も官民一体となって、地域のスポーツ環境の土台を整えていけたらと願っています。そのための仕組みづくりを予算も含めてきちんと話し合っていけたらと思います。

議会の懇談会に関して、住民から出た意見がどのように扱われるのかが見えにくいと感じています。形式的でない懇談会にしていってもらえたらと思います。

今後のこと

子どもだけでなく大人にもスポーツを楽しんでもらいたいと思っているので、そのためのサークルやイベント企画などに力を入れたいと考えています。また、現在人数が減っていて活動継続が難しい町内のサークルなどもまとめていければと考えています。ゆずに来れば、地域のスポーツ活動がわかって手続きもできるようにしていきたいと思います。どのような教室があるか興味のある方は、体育館の窓口でご確認いただくか、ホームページを確認してみてください。11月にはスラックライン教室やモルック交流大会などのイベントを開催予定です。


モルック交流大会

令和8年11月1日　第174号　発行／遊佐町議会　編集／議会広報常任委員会　〒999-8301 山形県飽海郡遊佐町遊佐字舞鶴202　☎(0234)72-5889　印刷／株式会社小松写真印刷

表紙の写真

「遊（ゆう）ねっと」の稲刈り

（遊佐町自然体験観光推進協議会）

青空の下、9月22日に広野地区の棚田に集まったのは、町内外から集まった子どもから大人までの12人。稲刈りと杭掛けを体験した。このイベントを企画したのは、「遊ねっと」。地元の困りごとをテーマに新しい体験観光を作りたいとチャレンジしている。地元の人、参加者の笑顔が自分たちの糧になっていると話してくれた。その通り、子どもも大人も笑顔の時間だった。



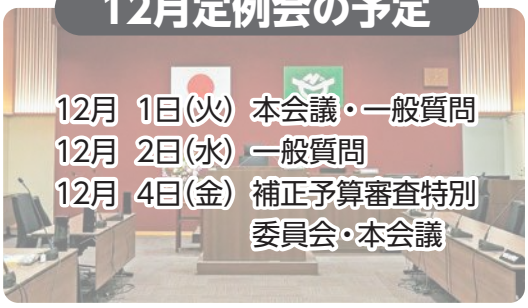
議会を見学しませんか

遊佐町議会は、年間4回の定例会が開催されます。

12月定例会は、下記の内容により議場で行われます。

ぜひ一度、見学してみませんか。

12月定例会の予定



12月　1日(火)　本会議・一般質問
12月　2日(水)　一般質問
12月　4日(金)　補正予算審査特別委員会・本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局(☎72-5889)にご確認ください。

議会クイズ No.130



問題

①7年度の「新・道の駅事業費」は。
A　2億1784万円
B　3億1784万円
C　4億1784万円

②「除雪経費」の9月補正額は。
A　6350万円
B　7350万円
C　8350万円

③遊佐町総合型クラブの名称は。
A　ゆず
B　みかん
C　なし

応募方法

ハガキに答えの記号（例①A　②B　③C）住所、氏名、年齢を書いてください。

正解者の中から10名様に米～ちゃんスタンプカードお買物券1000円分を、お届けします。ご応募いただいた方の個人情報は、この議会クイズ以外の目的には使用しません。**町広報に折込みのハガキは使えません。**

なお、当選者は町民に限定させていただきます。

令和8年8月1日173号の議会クイズには34名の方の応募があり、27名の方が正解でした。

答え　①B　②B　③C

当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

★**ハガキの余白に答えのほか議会へのご要望、ご意見をいただければ大歓迎です。**★

あて先／999－8301
遊佐町遊佐字舞鶴202
役場内　議会事務局
締め切り11月30日
発表は次号です。

編集室より

米作り農家が多い遊佐町にとって、JAが農家に支払う概算金がほぼ4割減となって、突然目の前が暗くなるような出来事だった。過去2年間米価が急騰して高値で取り引きされてきた反動が現れたものだが、相場的には急騰、高値維持、暴落のよくあるパターンではあった。だが、再生産可能な米価が維持できないと、米の生産量が減少する可能性があり、離農が増える懸念もある。米の生産が落ちて備蓄米を含めた在庫が減少すると、また米価がジリジリと上がりだすことも起こり得る。需要と供給のバランスがとれた政策が必要であるが、現状は十分でない。（斎藤弥志夫）



発刊人
議長　髙橋冠治

議会広報常任委員会
委員長　本間知広
副委員長　駒井江美子
委員　斎藤弥志夫
委員　菅原和幸
委員　佐藤俊太郎
委員　今野博義